

性的搾取・暴力のない世界を目指して ～それぞれの予防と対策への取り組み～

近年、世界の開発・人道支援の現場では、**性的搾取・暴力・ハラスメントからの保護**（PSEAH : Protection from Sexual Exploitation, Abuse and Harassment）への対応、および予防のために、様々な取り組みが推進されています。日本のNGOもこうした潮流を汲み、PSEAHの取組みを早急に進めるため、昨年よりワーキング・グループを設置し、活動を進めてきました。
海外・国内問わず、NGO/NPO関係者がPSEAHに対する理解を深め、意識向上とそれぞれの取組みを進めるため、その現状とこれからを考えます。

≪プログラム≫

- 開会挨拶 若林秀樹
国際協力NGOセンター（JANIC）事務局長
- 基調講演
 - PSEAHを巡る現在の潮流。これまで何か起きたのか？
Alon PLATO, Policy Officer
International Council of Voluntary Agencies（ICVA）
 - PSEA/H 日本における取組の現状、展望、課題
田中雅子 上智大学教授
- パネルディスカッション モデレーター：小林恵理子 国際協力機構（JICA）
Jules FROST, Head of Programmes & Partnerships, CHS Alliance
Sara BURROWS,
Australian Council For International Development（ACFID）
根本巳欧 UNICEF東京事務所 副代表
池内千草 ワールド・ビジョン・ジャパン
- 閉会挨拶 川崎敏秀
外務省国際協力局民間援助連携室長

@オンライン

9月30日(水)

15:00-
17:00

同時通訳
あります

参加申込：<https://forms.gle/x5VS5vW33iMNr1KL8>

「登壇者紹介」

Alon Plato : International Council of Voluntary Agencies (ICVA) 性的搾取・暴力からの保護 (PSEA) 政策オフィサー。WILPF (婦人国際平和自由連盟) では人権及び平和構築の分野で勤務し、国際・開発研究大学院 (ジュネーブ) で国際関係学修士号取得。PSEAH専門家グループなど関連機関の会議にも参加している他、ICVA人道支援財務チームにも所属し、連携調整やリスク・資金調達メカニズムの構築にも携わる。2018年より現職。



田中雅子 : 上智大学総合グローバル学部教授。博士 (開発学)。社会福祉士。DV相談員。英国で「開発とジェンダー」を学んだ後、国内外のNGO、日本赤十字社、JICAを通じてアジア、アフリカで実務に従事。帰国後は国内の災害対応におけるジェンダー主流化や、移民女性の健康などをテーマにした研究や市民運動に関わっている。

Jules Frost : CHS Alliance プログラム・連携協力部門長。Medair (本部 : スイス) の国際事業部長として、安全対策と危機管理チームを率いて世界各地での事業実施を担当したのち、CHS Allianceで被災者への説明責任、性的搾取・暴力・ハラスメントからの保護 (PSEAH) そして人材管理のための事業計画推進と管理、協力関係の構築、資金調達を統括している。



Sara Burrows : Australian Council for International Development (ACFID) 連携協力・政策部門長。オーストラリアの国際開発及び人道支援を行うNGOを支えるACFIDにおいて、ACFIDの行動規範やCSO国際基準を整備し、市民社会組織に対する説明責任を果たすことに数年間従事している。また、性的不正行為防止に関連し、幅広い分野での活動をレビューして2018年のACFIDの取り組みを統括した。

根本巳政 : 東京大学法学部卒業後、米国シラキュース大学大学院で公共行政管理学、国際関係論の両修士号取得。外資系コンサルティング会社、日本ユニセフ協会を経て、2004年4月にジュニア・プロフェッショナル・オフィサー (JPO、子どもの保護担当) として、UNICEFシエラレオネ事務所に派遣。子どもの保護担当官としてモザンビーク事務所、パレスチナ・ガザ事務所で勤務後、東アジア太平洋地域事務所 (地域緊急支援専門官) を経て、2016年10月から現職。



池内千草 : 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン支援事業部開発事業第1課所属。東北大学大学院修士課程、タイ王国チュラロンコン大学大学院修士課程タイ研究講座を修了。タイにおいて国連機関、日系コンサルタント会社に勤務した後、2008年にワールド・ビジョン・ジャパンに入団。東アジア地域事務所 (カンボジア) において2011年10月より2016年6月まで、メコン地域6か国で実施した「メコン地域人身取引対策事業」の被害者保護分野マネージャーを務めた。2016年7月より現職。子どもの保護分野のフォーカルポイント。

小林恵理子 : 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 総務部法務課所属。米国テキサス大学オースティン校大学院で修士号、博士号取得 (文化人類学)。カリフォルニア州立大学で教鞭をとった後、米国のNGOで人道・開発支援、選挙・民主化支援に携わる。2019年4月より現職。

「申込方法」

以下リンクよりお申込みください。

<https://forms.gle/x5VS5vW33iMNR1KL8>

「主催および実施団体」

主 催 : 外務省

実施団体 : 国際協力NGOセンター (JANIC) PSEAHワーキング・グループ

「問合せ先」

JANIC

ホバートあゆみ

pseah@janic.org

* 本イベントは、「令和2年度外務省NGO研究会」の事業として実施されます。